

武庫南小だより

学校通信 6月号
令和7年6月4日
尼崎市立武庫南小学校
校長 大龍 正幸

笑顔であいさつ 根気よく学び 思いやりの心をもつ

『笑顔英雄』笑顔で頑張れた体育大会

今年の5月は昨年度に比べると日中過ごしやすい爽やかな日が多く、まだ梅雨の声は聞こえてきません。6月は、5年生が自然学校を予定しています。梅雨の時期ではありますが、都市部と違い大自然の中で、様々な体験型プログラムを通して自分や友達、家族の「ええところ・大切さ」に気づき、成長に繋がられる自然学校になるように考えています。また、6月は下旬ごろから例年水泳指導を行なっておりましたが、梅雨の影響も考慮し、今年度は2学期に入ってから水泳指導を実施します。1学期も折り返しを迎えますが、引き続き落ち着いて学校生活を送り、学習に取り組んでほしいと思います。夏が来るのを心待ちに、さらに学校生活を充実したものにしましょう。

さて、先日地域の方からお褒めの報告をいただきました。本校の児童が下校途中に高齢の方が倒れているのを見かけ、声掛けし他の助けを呼んだということでした。昨年度も、本校の児童が公園で怪我をした児童の手当をし、大事に至らなかったという事がありました。登下校中や休み時間でも怪我をした子がいると、優しく介抱し保健室まで付き添ってくれる児童が多くいます。武庫南っ子3つの柱にある「思いやりの心を持つ」この気持ちが育っていることを嬉しく思います。

今年度の体育大会は、雨の影響で2日間に分けての開催でした。どの学年も練習から頑張り、成果を発揮できた体育大会となりました。低学年の演技では、初めての体育大会で、入場から退場まで笑顔とともに体いっぱい表現運動を楽しんだ1年生。万博の曲にあわせ、「こんにちわー」と笑顔いっぱいに踊る2年生。中学年では、運動量の多い表現活動に取り組み、体全体を使いパワー全開で元気に踊る3年生。集団行動を青と黄2色の旗を使った表現活動で気持ち合わせて取り組んだ4年生。高学年では、太鼓のリズムやエイサー独特のリズムに合わせ、民舞を表現した5年生。学年目標の「Saikou」目指し、組体操に取り入れた声掛け合戦や今までにないソーラン節を表現するため練習し、素晴らしい表現活動を披露してくれた6年生。本番での「構え」の掛け声で6年生が一つになった時には皆さんの頑張りや成長を実感しました。みんなの思いが一つとなり、徒競走やリレー、団体競技も白熱し、笑顔で頑張る姿には、「武庫南っ子」の体育大会を楽しもうとする前向きな気持ちを感じました。スローガンである『笑顔英雄』において頑張り、『全員が笑顔で輝いた体育大会』となりました。保護者の皆様には、練習期間中から本番まで、お子様の体調管理や体操服等のご協力いただきありがとうございました。今年度も多くの保護者、地域の皆様に武庫南っ子の頑張る姿を見ていただきました。PTA役員の方も準備段階から大会の運営に携わっていただき、感謝申し上げます。

